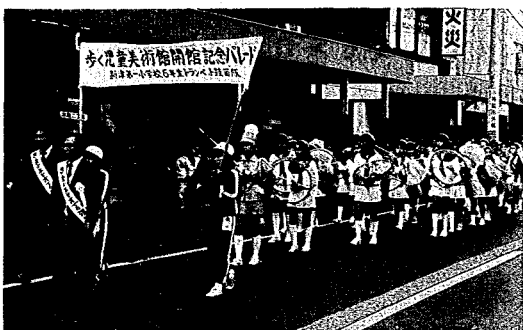


伸びゆく新津を壁画に

さきごろ、信越本線人道渡線橋の栄町側の壁面に、一小の児童が作成したパネルが展示され、「歩く児童美術館」としてオープンしました。これは、一小の5・6年生359人全員が半年がかりで制作したもので、テーマは、「伸びゆく新津」。秋葉公園の平和塔、SL、水をくむ女性、新津駅などが題材となっています。

「歩く児童美術館」は、児童の健全育成を願い、郷土意識の芽生えと身近な地域に目を向けてもらうことを目的に設置されたものです。

なお、渡線橋山谷町側にも、三小の児童が制作した「新津の四季」の壁画が、今年の3月から掲げられています。児童の力作をぜひご覧ください。



11月7日に行われた歩く児童美術館記念パレード



人道渡線橋(栄町側)に展示された一小児童の力作

広報

にいつ

12/1

昭和62年(1987年) 599号

★編集・発行 / 新潟県新津市 / ☎956 新津市本町二丁目
2番1号 / ☎0250-24-2111(代) ★毎月1日・15日発行

今号の内容

- 痴呆性老人を考える……………②③
- 市議会十一月臨時会から……………③
- 市政功労者を表彰……………④
- 盛り上がった市展……………⑥⑦
- みやげ品・特産品の紹介……………⑧
- 市史が発刊されました……………⑫